

Rotary



国際ロータリー第 2630 地区東濃グループ
多治見西ロータリークラブ

Weekly Report

ウィークリー・レポート

2017~2018 年度 第 52 期会長テーマ

『継続するための変化と多様性』

例会日 毎週 木曜日
例会場 産業文化センター
事務局 多治見市新町 2-23-4F
T E L 0572-25-5100
F A X 0572-25-5101
Email n-rc@joy.ocn.ne.jp
H P http://tajiminishi.jimdo.com
会 長 加藤 真左子
幹 事 山田 正史



ロータリー:
変化をもたらす



第 2509 例会 2018 年 5 月 31 日

5 月は青少年奉仕月間

お 祝 い 例 会

オースタット国際ホテル 点鐘 12 : 30

本日のプログラム

点 鐘

ロータリーソング 手に手つないで
四つのテスト

会長挨拶

次期会員増強セミナー報告

出席・スマイル報告

委員会報告

幹事報告

お祝い例会

お誕生日

結婚記念日

点 鐘



5 月のお祝い

お誕生日

5 月 11 日 松浦毅君

5 月 17 日 大澤恵里子様 (大二君夫人)

結婚記念日 5 月 25 日 古田徳夫君

着信書類

- ・多治見市表彰及び顕彰に関する規則に基づく
市制施行 78 周年表彰等候補者の推薦について
- ・2018~19 インターアクトクラブ活動計画書
- ・人権だより NO.73
- ・6 月のロータリーレイト 1 ドル 110 円
(5 月は 108 円)

他クラブ例会変更のお知らせ

瑞浪 RC → 6 月 3 日 (日) 点鐘 7 : 30

土岐川河川清掃 商工会議所前土岐川河川

来週 (6 月 7 日) のお知らせ

田中登志男君入会式

定例理事会 11 ; 30 特別会議室

卓 話 青少年育成小委員会委員 藤下和也様
出前講座について (恵那 RC)

先週の記録 ●出席報告

会員数 36名 免除者 4名 出席義務者 32名

出席者	欠席者	出席率
20名	12名	62.5%

●スマイル報告 投函者 13名 金額 16,000円

先週の卓話 福沢諭吉研究家 坂本浩一様

「素顔の福沢諭吉」



下級武士の子として大坂藩邸に生まれる。1855年緒方洪庵の適々斎塾に学び、塾頭となったが、1858年藩命により江戸へ出、築地鉄砲洲に蘭学塾を開いた。資本主義文明を、

それを生み出した精神から理解しようとした。明治維新のとき、蘭学塾を芝新銭座に移し、慶応義塾（慶応義塾大学）と名付け、明治政府への出仕を辞退し、民間にあって教育と著述に専念した。諭吉は面白いおしゃべりな人。ユーモアがあり人間は朗らかでなければいけないと日頃から思っていた



生年月日⇒天保5年12月12日

（西暦1835年1月10日）干支は「午」

体格⇒身長174cm 体重73kg 骨太であった

声の特徴⇒聞いたこともないほどの気持ちの
良い声の持主

性格⇒とても涙もろくよく劇をみて泣いていた。

特技⇒同時に3人ぐらいの人と話したり聞いたりしながら、さらに手紙を書くことができた。

苦手な事⇒木登り・水泳・血を見る事

最も大切にしていたもの⇒家族と友人

モットー⇒女も愛嬌、男も愛嬌

常に心得ていた事⇒「痩せ我慢の精神」の実践

人生哲学⇒はかなくも短い人生を一生懸命に生きる

何をしたか⇒「独立自尊（プライドを持って自分の道を切り拓く）精神」を社会に広め、日本人の心を封建的な呪縛から解放した。

石垣智康君からの補説

「学問のすすめ」について、少しばかり補説します。「封建制度は親の仇でござる」という言葉で始まる、福沢諭吉の「学問のすすめ」は明治のあの時代に増刷を重ね、300万部以上出版され、いままでのベストセラーを記録している。この時代の人口は3000万人だから10人に一人は読んだことになる。この中には文字の読めない子供も

入っているから、いかに多くの大人に読まれたかが解る。下級武士の家に生まれた諭吉は、生まれながらにして社会的身分の差によって冷遇された封建制度に反発して、冒頭にこのようなこと述べたのである。この本は、これからの時代は学問の時代である、学問をして自らを向上すれば、希望する道に進むことができる、と述べて、大いに学問を奨励した。この本は簡単な文章ではないが多くの人がこれに共感した。この時代にこれだけの読者層を持ったのは、文字を読めるほどにレベルが高かったのである。

次期会員増強セミナー報告

次期会員増強委員長 中島竹壽

5月26日（土）岐阜グランドホテルにて次期会員増強セミナーに加藤会長と行ってきました。三浦真一 2750 地区パストガバナーの特別講演の一部をご紹介します。

会員増強はなぜ必要か？

会員増強は手法でありロータリーの目的ではないがロータリーの存在意義と更なる発掘のため必要である。

会員増強の目的と計画を共有する。

会員増強に奇策はない。地道に根気よく声をかける。現会員の2~3名が会員増強に強い気持ちがあればできない。入会候補者に配布するPR資料・募集リーフレットを作る。

会員増強の体制を確立する。

クラブの活発な奉仕活動は会員増強の最大の糧になる。どのようにしたら会員を増加させるか委員会、例会で話し合う。

「異業種の友人がたくさんできるよ」「この街に会社があるのだから一緒に奉仕活動をしよう」と勧めしてみる。まずは例会でみんなに会うことが楽しく思えることが大切である。

午後からは各クラブに事例発表がありました。「ロータリーに入会して良かったこと」をテーマ



に加藤会長を始め13名の女性会員がスピーチされました。

起承転結・理路整然・全員が弁舌さわやかで

女性パワーに腰が抜けるほど圧倒されました。

女性パワー、おそろべし！！

今後は女性会員の増強がロータリーの活性化に繋がることを実感しました。